

## 福井支部ニュース

2022年度 第9号

日本科学者会議福井支部

連絡先：山本雅彦、masahiko@mbp.nifty.com

郵便振込口座番号 00710-9-17967 日本科学者会議福井支部

支部ホームページ <https://jsafukui.net/>

科学者会議本部 <http://www.jsa.gr.jp/>

### 今号の内容

- ◆大阪地裁 老朽美浜3号機運転停止仮処分申請却下！(山本 雅彦)
- ◆時評紀行 風力発電・放射性廃棄物紀行(2) 寿都 (小野 一)
- ◆本の紹介 関東大震災 描かれた朝鮮人虐殺を読み解く (森 透)

### [大阪地裁 老朽美浜3号 運転停止仮処分申請 却下！]

12月20日、運転開始から40年以上を超えて稼働している関西電力美浜原発3号機について、老朽化のリスクに加え、特に敷地近傍に活断層があるなど、地震に対する安全性に問題があるほか、避難計画にも不備があるとして、福井、滋賀、京都3府県の住民ら9名が申し立てていた運転差し止めの仮処分について、大阪地方裁判所(井上直哉裁判長)は住民らの申し立てを却下した。

決定は、はじめに却下を決めておいて、理由を後付けしたものであり、原子力規制委員会の審査を追認するだけでなく、ことごとく関電の言い分をそのまま認めるものである。裁判所は、自ら何らの判断を示さず、司法の役割と責任を放棄した決定で、裁判官にとっては、福島原発事故の悲劇

は忘却の彼方であり、岸田政権に忖度することのみが関心事であったと言わざるを得ない。

#### ① 原発老朽化について

(申立人) 老朽化に伴って設備や機器が想定外に劣化し重大事故を起こす可能性が高い。炉内で発生する中性子の照射によって、原子炉圧力容器が脆くなる中性子照射脆化など設備の劣化が進み、事故の恐れが飛躍的に高まる

(関電) 点検・管理で劣化状況を調べ、部品を取り換え、60年運転になっても安全性は十分に確保している。中性子照射脆化など高経年化に問題はない。

(決定) 関電は新規規制基準が求める対策を実施し、同基準が定める高経年化対策以上に、本件発電所の安全性を厳格、慎重に判断しなければならないとする事情は認められない

#### ② 地震対策について

(申立人) 原発の耐震設計で想定する基準地震動は、原発周辺の活断層の影響が正確に反映されていない。原発から約1kmに活断層があり、真下には破碎帯が通り、地盤にずれが生じる可能性がある。

(関電) 震源想定断層の長さや面積は、大きく見積もって基準地震動を策定している。活断層は影響を考慮する距離ではなく、破碎帯は12万年～13万年前以降活動しておらず、将来動く可能性はない。

(決定) 活断層は考慮する距離ではないとした規制委の判断や、関電の破碎帯についての評価に不合理な点はない。

#### ③ 避難計画について

(申立人) 避難場所や経路に他の原発周辺エリアが含まれ、巨大地震での多発的原発事故を想定したルートが策定されておらず、深層防護の第5層である避難計画の設定に実効性がない。

(関電) 国の原子力防災会議で「具体的かつ合理的」と了承され、国や自治体との防災訓練で実効性は向上している。

(決定) 具体的な危険性について十分な証明がない。避難計画の不備も認められない。1層から4層までの危険性が立証されなければ、第5層だけで論じることはできない。

「老朽原発うごかすな！実行委員会」と「オール福井反原発連絡会」(JSA 福井支部も県連絡会を通じて参加している)は、決定書交付の20日午後12時から大阪地裁前で前段集会を開催。午後2時過ぎには、多くのマスコミがカメラのシャッターを切る中、弁護士から簡単な報告を受けた後、「大阪地裁は美浜3号の事故責任がとれるのか!」「司法の原発政策への忖度を許さないぞ!」など怒りのシュプレヒコールで大阪地裁決定を糾弾した。

その後、堂島ビルでの記者会見と報告会で参加者は、決定に一喜一憂することなく、更なる「老朽原発うごかすな!」の大行動と、新たな訴訟団体として「福井の老朽原発訴訟の会」(代表・山本雅彦)の立ち上げを確認。仮処分の申し立て人、弁護士は、大阪高裁への即時抗告を決定した。

また関電本店では、冷たいビル風が吹く中、不当決定への怒りのシュプレヒコールを上げ、原発に固執し、トラブル頻発、原発マネー不正還流など関電の腐敗した体質を糾弾する行動を行った。

(山本 雅彦)

### 支部ニュースへの寄稿・投稿を

支部ニュースを支部会員間の交流の場とするため、積極的な寄稿・投稿をお願いします。

◆ジャーナル評論:「日本の科学者」「福井の科学者」の評論

◆時事評論、意見・見解

◆活動報告・経験報告・事例紹介

◆行事案内、会員への案内・お知らせ

◆その他、エッセー、書評、文芸作品の紹介など、何でも

支部ニュース担当者までメールでお送り下さい。

yamane@f-edu.u-fukui.ac.jp

ogura@u-fukui.ac.jp

## 【時評紀行】風力発電・放射性廃棄物紀行(2) 寿都

2020年8月13日、北海道寿都町の片岡春雄町長は、放射性廃棄物最終処分場の「文献調査」に応募する意向を示した。選定プロセスの第一段階だが、文献調査を行えば最大20億円が電源立地地域対策交付金から支払われる。2021年10月26日の寿都町長選挙では、片岡町長が文献調査反対派の対立候補を下して再選されるが、次の概要調査に進む前に住民投票を実施すると公約した。

高レベル放射性廃棄物は、数万年単位で環境から隔離されねばならない。かつては海洋や宇宙空間に投棄したり、南極の氷床に閉じ込める方法も検討されたが、国際条約や技術的理由で否定され、消去法的に残ったのが地層処分、すなわち安定した地盤の地下深くに永久保存する方法である。そんな施設を誰が望むだろうか。

誰もが忌避する迷惑施設は、立場の弱い者にしわ寄せされる。寿都町の人口は3,000人に満たず、高齢化も著しい。財政難に苦しむ小規模自治体が、背に腹は代えられぬ思いで文献調査に手を出すのは、ある意味で計算どおりである。片岡町長は、風力発電事業やふるさと納税など「稼げる町長」として知られるが、創意工夫だけでどうにかなるものではない。カネ目当ての浅はかな行為と断罪するのは一面的である。分断社会で立場の弱い人(地域)が孤立無援というのは、原発推



進側の思う壺なのだから。原子力開発の「負の遺産」を弱者の犠牲で「解決」しようとする仕掛け。それを容認する多数派世論。地方自治と民主主義は機能しているのか。ここに寿都問題の本質がある。

この町をぜひ訪れたいと思った。それが叶い、2022年8月、役場担当者の案内で町営風力発電所を見学した（写真）。11基の風車が稼働中で、最大出力は1万6,580kW。さらなる拡張計画もある。風力発電は町の貴重な財源だが、将来が安泰でないことは関係者の誰もが知っている。固定価格買取制度（FIT）について見ておこう。

FITの再生可能エネルギー普及促進効果は国内外で実証済みだが、日本では、太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスを用いて発電された電気を、一定期間、電気事業者が買い取ることが義務づけられる。具体的な買取価格（1kWhあたり）と調達期間は、再生可能エネルギーの種別や形態により異なるが、20kW以上の陸上風力については2012年度から17年9月末までは買取価格が22円＋税で調達期間が20年間、2017年末までは買取価格が21円＋税（調達期間は変更なし、以下同じ）、2018年末までは20円＋税、2019年末までは19円＋税、2020年末までは18円＋税に設定された。2021年度以降は入札制度が導入される。すなわち、買取価格は新しく建造された風車ほど安くなる。将来的にも風力発電で稼ぎ続けるには、買取価格低下を補うべく事業を拡大し、あるいは洋上風力のような異次元のプロジェクトに踏み込まねばならない。まるで輪回しのねずみのよう。

寿都町は、再エネがFITで優遇されていた時代に風力発電で成功し、次なる財源を探さねばならぬタイミングで文献調査に行き会った。片岡町長が、政治的にも地質学的にも寿都に最終処分場など作れないことを百も承知で文献調査に応募し、その対価として交付金を受け取り（もちろん不正受給ではない）、洋上風力の調査費に充てようと考えていたのなら、日本人離れした合理的・戦略的思考のできる人とさえ言える。

最終処分場は一地域の問題でない。どこにも作らせないという選択肢が

ない以上、「不利益の公正配分」を考えねばならない。私たちにその意思はあるだろうか。寿都への旅を終え札幌に戻る時、いつになく暗い気分になった。オリンピックを見越した不動産バブルの中、タワマン建設ラッシュ。こんな札幌は見たくない。誰かの犠牲の上の繁栄。それに目をつぶる多数派世論。寿都問題の本質をなす思考様式は私たち自身の中にもある。

（小野 一）

## 【本の紹介】『関東大震災 描かれた朝鮮人虐殺を読み解く』

新井勝紘、新日本出版社、2022年8月

本書を新聞で目にしたとき、最初に注目したのは著者の新井勝紘氏である。新井氏は自由民権運動研究で著名な学者であり、歴史家である。史料を丁寧に掘り起こしながら、歴史の真実に迫る民衆史研究の第一人者である。その新井氏が関東大震災の研究もされていることはあまり知らなかった。著者の略歴を紹介する。

1944年東京生まれ。東京経済大学卒（色川大吉に師事したと思われる）。町田市史編纂室、町田市立自由民権資料館主査、国立歴史民俗博物館助教授、専修大学教授、認定NPO法人・高麗博物館館長を歴任。著書は、『五日市憲法』（2018年、岩波新書）、編著『自由民権と近代社会』（2004年、吉川弘文館）、編著『近代移行期の民衆像』（2000年、青木書店）ほか。

本書の目次を紹介する。

はじめに

序 関東大震災と私一義母の体験から

I 「描かれた朝鮮人虐殺」論にむかって

II 少年が見た朝鮮人追跡

III 一枚の「虐殺絵」スケッチから見えるもの

IV 菅原白洞の「東都大震災過眼録」

## V 柳瀬正夢と櫻山南風

## VI 試論・新発見「関東大震災絵巻」に迫る おわりに

著者の思いは「はじめに」に凝縮されている。日本災害史上、最悪の数となった関東大震災から来年 2023 年 9 月で 100 年を迎える時点で、著者は在日朝鮮人の虐殺事件が国家の力が働いてきたこともあり、歴史から隠蔽され、誰も責任をとらずに 1 世紀が過ぎようとしている現実に危機感を懐き警鐘を鳴らしているのである。著者はいう。「歴史に学ぶことが、一世紀経ってもまだできていないことに恥を感じざるをえない。短い期間ではあったが認定 NPO 法人・高麗博物館の理事や館長をつとめた経験者として、私たちは今なにをしなければならないかを、改めて問われているのだと思う。それはまた、私たちが背負う責任の重さでもある。／私が描かれた朝鮮人虐殺絵に執着して向き合ってきたことは、このような背景があることを、最初に断っておきたい」（5 頁）

著者は結婚後、1919（大正 8）年 2 月生まれの義母から、わずか 4 歳くらいで関東大震災の運命的な体験をした話を聞き出したことがあるという。義母たち家族は夏休みが終わるころに東京府西多摩郡瑞穂町の親戚の家から東京の本所に帰るところで、幼い義母だけはもう少し帰らずに泊まることになったが、それが運命の分かれ道となり、父母・兄弟は震災で全員が亡くなったが、どこでどのように亡くなったのかは誰も確認が出来なかったという。このような聴き取りが著者の肉親からあったことは非常に大きな意味がある。その大震災はマグニチュード 7.9、死者・行方不明者 10 万 5000 人余、住家全壊 10 万 9000 余戸、半壊 10 万 2000 余戸、焼失家屋 21 万 2000 余戸、という甚大な被害をもたらした。同時に、朝鮮人虐殺が官憲だけではなく、流言飛語による民衆によって虐殺が行われた事実である。しかし「朝鮮人虐殺絵」の公開を巡って、公立の博物館や関連施設で起こっていること―「誰かがプレッシャーをかけているにちがいない」（20 頁）と指摘する。「関東大震災をとりあげる歴史展

示では、その時起った残虐な朝鮮人虐殺の事実は全く伏せられたままの展示が固定化されてしまうだろう」（同前）と警鐘をならす。歴史の真実を追究することの意味は何か。当時の多くの民衆が虐殺に加わった事実から何を学ぶのか。今の政治状況に対して、多くの国民が真実から目を背けている現実―ウクライナ侵略のロシア国民、内閣支持率に見られる国民意識など、いろいろと考えさせられる点が多い。

（森 透）

## 2022年度後期の会費納入をお願いします

今年度後期の会費をお願いします。また、過去の未納会費のある方は、分納でも結構ですので、至急納入をお願いします。

## <<編集後記>>

福井支部ニュースの第 9 号をお届けします。

岸田政権は、発足当初はいろいろ言っていましたが、参院選以降はすべて投げ捨て、「丁寧に説明する」との言葉だけ念入りに「丁寧に」繰り返しています。ウクライナ侵攻を奇禍としてナオミ・クラインの惨事便乗型資本主義（ショック・ドクトリン）を進め、軍事費増を「国民の責務」に転嫁しました。国内の軍需産業基盤すら衰退する中で、トマホークなど「米国から武器を買う」のを当然視し、安倍が爆買した F35A, B の 100 機以上のツケもあるのに、まだ米国の軍事産業・死の商人に資するのです。

そして、福島第 1 原発事故の廃炉展望のみならず 50 機を超す原発からの「廃棄物」の最終処理展望がまだに全く見えないのに、「老朽原発の 60 年越え運転」さらには「新設・増設」の方針を、国会無視で閣議決定しました。原発を GX に位置付けてグリーン・ウォッシュするというのは、詐欺でしかありません。さらなる問題は、行政から独立しているはずの「規制委員会」です。発足当初からあいまいな姿勢がありましたが（退任後原発訴訟にかかわっている島崎邦彦初代委員長代理は異色？）、更田前委員長・山中現委員長は旗幟鮮明で、60 年越え稼働延長の是非は委員会の任務ではない、と公言しています。初井元 NHK 会長の「政府が右というのに左とはいえない」を彷彿させます。この支部ニュースの山本雅彦報告にある大阪地裁の延長稼働停止仮処分却下の決定理由は、民主主義の要諦の三権の司法すら従属していることを、まともや露呈しました。（OG）